

地域づくりに取り組む団体を支援!

地域課題解決プロデューサー人材活用事業

支援対象団体募集

地域づくりに取り組む任意団体や法人格を持つ団体(地域団体)に対して、活動の強化、事業計画策定、人材育成、経営基盤の強化などを支援するコンサルタント(地域課題解決プロデューサー)を派遣し、伴走型の活動支援を行います。

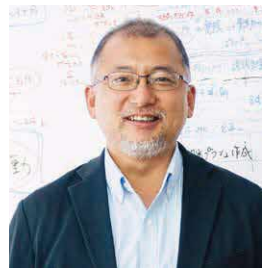
支援対象となった団体には、団体・地域の抱える課題の解決に向けた支援を行います。

① 総合プロデューサー 支援対象団体へのアドバイス



むらおか こうじ
村岡 浩司氏
株式会社一平ホールディングス
代表取締役社長

“世界があこがれる九州をつくる”を経営理念として、九州産の農業素材だけを集めて作られた九州パンケーキミックスをはじめとする、「KYUSHU ISLAND@九州アイランド」プロダクトシリーズを全国に展開。様々な地元創生活動や食を通じたコミュニティ活動にも取り組んでいる。



しばた ゆう
柴田 祐氏
熊本県立大学 環境共生学部 教授
地域・研究連携センター長

大阪大学大学院工学研究科助教等を経て2017年より現職。専門は地域計画、農村計画、景観計画。無住化集落の実態調査、農山漁村地域における地域資源を活かした地域づくりなどの調査、研究を進めているほか、まちづくり協議会などの運営サポートを行っている。

② 団体プロデューサー 伴走型の支援

担当プロデューサーがヒアリングや支援計画策定、専門家の派遣調整等を行い、効果的な支援となるよう伴走支援します。

③ 専門家 ニーズに即した専門的支援

支援ニーズに即した専門家を交えて課題抽出・課題解決に取り組めます。

◎**応募締切** 2023年7月14日(金) **必着** ◎**支援期間** 2023年8月下旬～2024年3月

◎**対象** 地域づくりに取り組む任意団体や法人格を持つ団体(NPO法人、一般社団法人、財団等)

◎**応募方法** 下記応募フォームへの投稿、又は応募書類に記入の上、提出先まで郵送又は持参
※応募書類は下記よりダウンロードください

◎**審査** 一次・二次審査を実施し、結果を応募団体に通知
(一次審査)2023年7月中旬～下旬実施、書類審査
(二次審査)2023年7月下旬～8月上旬実施、書類+プレゼンテーション審査※

応募
フォーム



問
合わせ
フォーム



郵
送
用
応募
書類



総合Pによる
地域づくり講演会
「持続可能な地域のかたち」
6/30(金) 18:00～
参加
無料



[事業主体] 熊本県(地域振興課)

[書類提出先/問合わせ先] 熊本日日新聞社 業務推進局 地域創成部(事業受託者)

〒860-8506 熊本市中央区世安1-5-1 Tel.096-361-3343(土日祝除く9:30～17:30)

※郵送の場合、件名を「地域課題解決プロデューサー事業応募」として下さい

【郵送用応募書類等ははこちらから】 <http://cms.pref.kumamoto.jp/soshiki/21/175791.html>



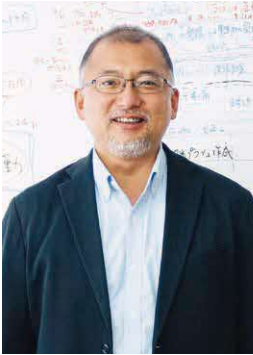
ともに、ローカルの価値を見つける旅に出ましょう!

むらおか こうじ
村岡 浩司氏

僕にとって、地域への興味というのは、すなわちそこに住む「人」への興味に他なりません。九州各地には、まだ活かされ切っていない資源が眠っています。農業の産地を訪ね、ものづくりの現場を訪れ、そして、人の営みを感じて、僕は旅を通して「九州アイランド」という概念に辿り着きました。九州をあたかも一つの島であると捉えて、広域経済圏で捉え直し、無数に存在する宝物のような価値を紡ぎ合わせることで、「世界があこがれる九州をつくる」ことに挑戦しています。宝物とは「人」であり、彼らの出会いの偶発性をデザインすることで九州の未来創造につながる発見やイノベーションが生まれてくるのです。

今こそ、「ローカル」という言葉の再定義が必要だと思っています。それは「地方」と「都会」という二元性(上下意識)のある単純な翻訳ではなく、そこにしかない「唯一無二の価値」であり、地元の人々が愛し、誇りに思えるような存在のこと。

志あふれる皆さんとの出会いを心から楽しみにしています。ともに、ローカルの価値を見つける旅に出ましょう!
One Kyushu!



変化を前向きに捉え、新たな地域づくりに挑戦しよう!

しばた ゆう
柴田 祐氏

まちづくり、地域づくりとは? と問われると、一言ではなかなか説明しづらいものですし、人によっても考え方が様々です。それでありながら多くの人と一緒に取り組まなければならないのがまちづくり、地域づくりです。

また、人手不足や意識の醸成の難しさなど、まちづくり、地域づくりをめぐる課題は大きくて深く、その解決のためには小手先の対応ではどうにもならないところまで来てしまっているのかもしれない、そんなふうにも考えられます。

一方で、社会が豊かになり、技術も進歩したことにより、例えば、SNSによる情報発信など、皆でやらなくても一人でもできることが増えたのも事実です。つまり、人口減少と高齢化とともに担い手となり得る人の数は減ったかも知れませんが、そのエネルギーまでもが減少している訳ではないと思います。我々は今、まちづくり、地域づくりの大きな構造変化のただ中にいます。今回の事業を通じて、そのような変化を前向きに捉え、取り組みに活かしていくきっかけにいただければと思います。

支援の流れ

① 支援対象団体の公募、決定

下記応募フォームへ入力するか、応募書類一式を下記事務局へ郵送してください。
支援対象団体の費用負担はありません。
応募の要件を満たすかなどを審査の上、4団体程度を支援対象団体として選定します。



応募
フォーム



問合わせ
フォーム



郵送用
応募書類

② 支援活動

支援対象団体ごとに地域課題解決プロデューサーを派遣して支援を行います。

- ヒアリングを通して、組織診断や支援計画策定を行います。
- 支援内容に対応した専門家を交えて課題解決に取り組みます。

(支援分野の例)

- 活動強化 / まちづくり、福祉、教育、農業環境、産業支援、防災、観光等
- 組織強化 / 事業承継、広報、税務、労務、補助金・助成金、運営等

③ 活動事例報告会

各団体による活動報告を行い、今年度の取り組みを振り返ります。

※2024年2月予定



応募資格

① (団体要件) 次に掲げる要件を全て満たすこと。

- ア. 団体が個人の利益に資するものでなく、地域の課題解決を目的として組織されたものであること。
- イ. 県内に事務所を置くことを定款又は規約で定めており、総会や理事会により団体の意思決定を行っていること。
- ウ. 役員及び構成員が暴力団又は暴力団、若しくはその構成員、若しくはその構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にないこと。

② (活動要件) 次に掲げる要件を全て満たすこと。

- ア. 次に掲げるいずれかの活動を行っていること。
 - (ア) 熊本県の施策と整合する活動を行っていること。
 - (イ) 熊本県又は県内市町村との協働の実績を有すること。
- イ. 県内でおおむね半年以上の継続的な活動実績があり、継続的な活動が見込まれること。
- ウ. 法令違反、公序良俗に反する活動を行っていないこと。
- エ. 次に掲げる活動を行っていないこと。
 - (ア) 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成すること。
 - (イ) 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対すること。
 - (ウ) 特定の公職(公職選挙法(昭和25年法律第100号)第3条に規定する公職をいう。以下この(ウ)において同じ。)の候補者(当該候補者になろうとする者を含む。)若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対すること。

[事業主体] 熊本県地域振興課

[書類提出先 / 問合せ先] 熊本日日新聞社 業務推進局 地域創成部(事業受託者)

〒860-8506 熊本市中央区世安1-5-1 Tel.096-361-3343(土日祝除く9:30~17:30)※郵送の場合、件名を「地域課題解決プロデューサー事業応募」として下さい

郵送用応募書類等はこちらから <http://cms.pref.kumamoto.jp/soshiki/21/175791.html>